

八ヶ岳クラフトフェア見学（報告：津澤）

（第 154 回諏訪日曜発明学校：2000 年 10 月 8 日）

10月の諏訪日曜発明学校の開催日と八ヶ岳クラフトフェアの開催日が同日になり、先月の学校で「このクラフトフェアを見学して勉強したらどうか」との意見がありました。たまたま会員の石川さんがクラフトフェアに出展していましたので、石川さんの御好意により同ブースをお借りして発明学校を開催しました。会員の皆さんもこんな時でないの見学する機会が無いので普段と同じくらいの9名が出席し、会場を見学して物造りの原点を見直してみました。

たまたま石川さんのブースが体験コーナーであり机や椅子が用意されましたので会員の皆さんもゆっくり出来たと思います。八ヶ岳クラフトフェアの出展者は「ガラス：18」「木工：50」「染色：17」「陶芸：49」「皮革：8」「金属加工：13」「その他：29」「体験コーナー：5」の合計189のブースで盛況でした。全て手造りの製品でなければならないとのことで、審査の関門もあり出展者の皆さんは目を輝かせていました。

見学しての感想として、

- ・ブースに大勢の人が集まり何か人にアピールする場合には、作品が動くとか体験出来ると効果が期待できる事を実感した。そのため発明学校においてアイデア等を発表する場合の心得としたい。

又、役に立ちそうな情報として、

- ・水に溶けない紙で作った植木鉢。
- ・木のおもちゃで上から下へ段々と転がして落とすと一番下でうまく着地するものがあり、子供の教育にもよいと思った。バランスと重心を考えたものと思われる。
- ・おもちゃの材料では木や紙をふんだんに使っており、これも発明家と思えた。木や紙も使い方で何でも表現できると思えました。

等の意見が出されました。

以上